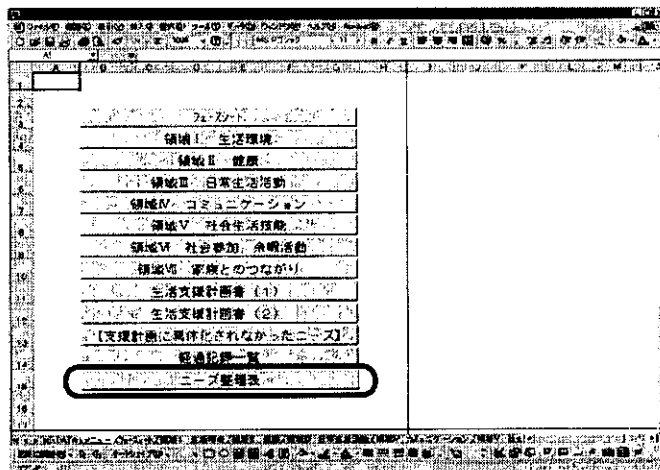


別紙1 ニーズ整理表

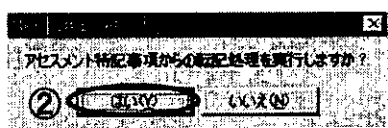
1. メニューに「ニーズ整理表」が追加されました。



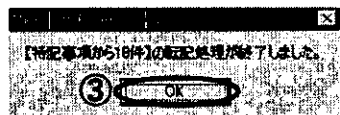
2. 特記事項から転記機能

①「特記事項から複写」を押します。

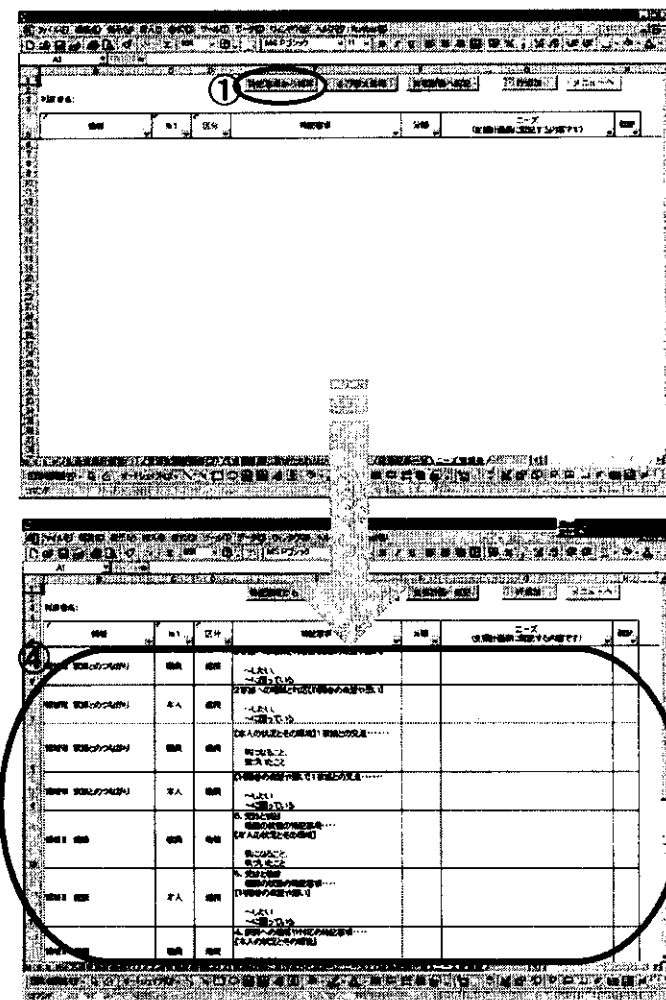
②「はい」を押します。



③「OK」を押します。



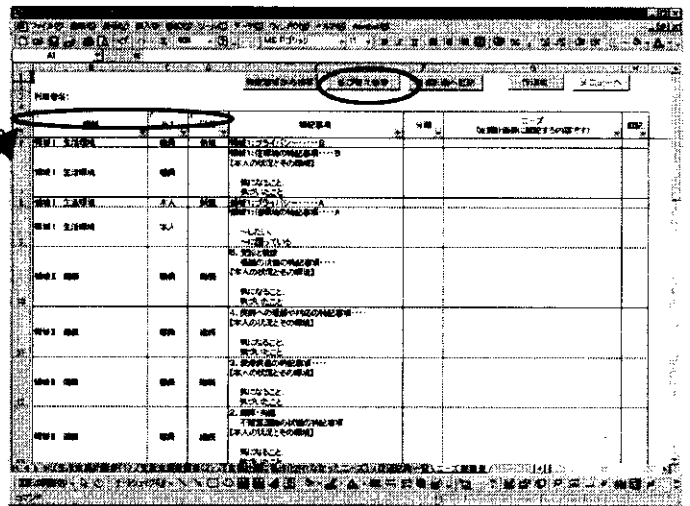
④領域Ⅰ～Ⅶまでの特記事項に入力されている項目が、複写されます。



3. 「並び替え処理」機能

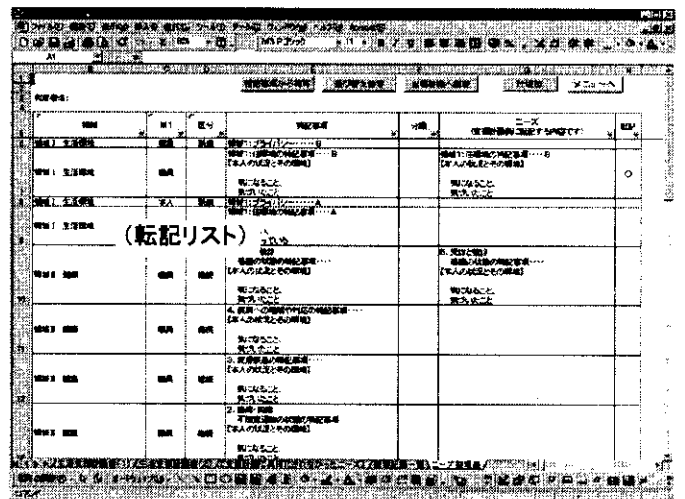
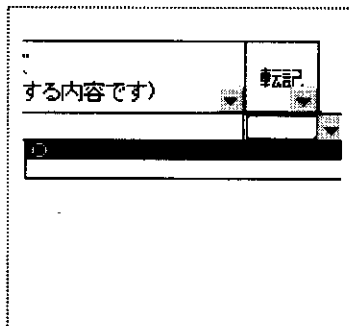
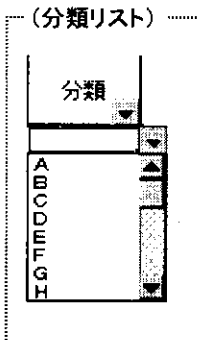
「領域」、「※1」、「区分」の順に並び変わります。

- ・「領域」は、領域Ⅰ→領域Ⅱ→領域Ⅲの順に並びます。
- ・「※1」は、職員→本人の順に並びます。
- ・「区分」は、継続→新規の順に並びます。
- ・「領域」、「※1」、「区分」の左上にあるラジオボタンを押すことで、その項目だけの並び替えもできます。



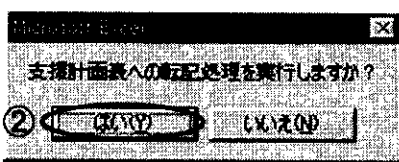
4. 「ニーズ分類及び編集」機能

- ・「ニーズ」は必要に応じて、特記事項の内容をコピーし編集します。
- ・「分類」、「転記」はリストから選択します。



5. 「支援計画表への転記」機能

- ①「支援計画へ転記」を押します。
- ②「はい」を押します。

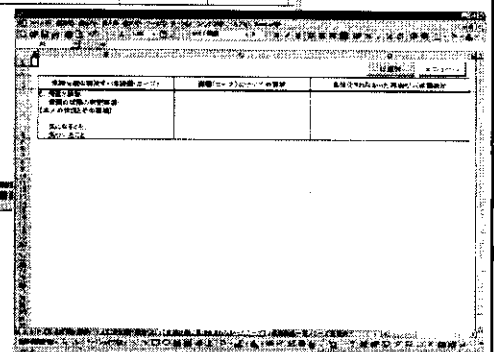
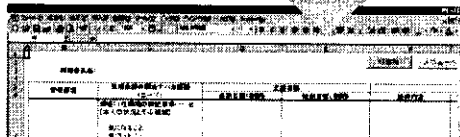
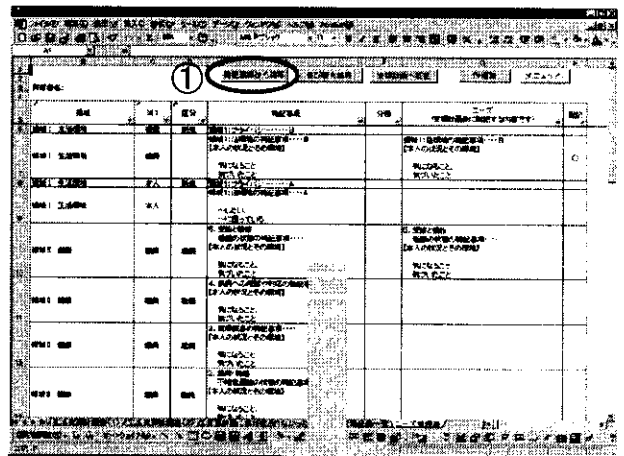


- ③「OK」を押します。



- ④ニーズに入力されている項目が、「生活支援計画書(2)」と「支援計画に具体化されなかったニーズ」にコピーされます。

- ・「生活支援計画書(2)」に転記されたものは、ニーズの内容が赤字になります。
- ・「支援計画に具体化されなかったニーズ」に転記されたものは、ニーズの内容が青字になります。
- ・転記に○がついているものは「生活支援計画書(2)」にコピーされます。
- ・転記になにも記入がないものは、「支援計画に具体化されなかったニーズ」にコピーされます。



別紙3 アンケート用紙

ケアプランソフトの実施報告書

施設名 _____

1. 業務効率化が期待できると思いますか？

思う 思わない わからない

(コメント)

2. 利用者サービスの向上が図れると思いますか？

思う 思わない わからない

(コメント)

3. 職員の資質向上にとってどうであったか？ (業務の統一化など)

(コメント)

4. 一人分を入力するにはどれくらいかかりましたか？

フェースシート () 分

アセスメント () 分

支援計画書 (1) (2) () 分

トータル () 分

入力担当者の年齢 () 才台 性別 ()

(コメント)

別紙4 アンケート結果集計

(1) 業務効率化が期待できると思いますか？			
思う …1			
思わない …2			
わからない …8			
アセスメントからニーズ整理表への連動は業務の効率化につながると思う。	ニーズ整理表	業務効率化	電子化が有効であるという意見
「利用者の希望や思い」「本人の状況とその環境」の特記事項がニーズ整理表として一覧になるという点は、ピックアップする作業の簡素化ということで大変有効だと感じた。	ニーズ整理表	業務効率化	電子化が有効であるという意見
アセスメントからケアプラン作成までについて…ラジオボタン・チェックボタンをクリックする、また、ニーズ整理表への複写、支援生活計画書(2)へ転記出来る事に関しては、全てワード機能を使用した(囲み文字・コピー等)場合に比べると、効率化が図れると思う。	ニーズ整理表	業務効率化	電子化が有効であるという意見
ワードを使用したケアプランの入力に比べ、アセスメントシートの項目のチェックや、支援計画への転記の操作が簡単に行なえ、ケアプランを効率的に作成出来ると思います。	システム全般	業務効率化	電子化が有効であるという意見
一方、LANの構築などにより他職種との連携を考えると経過記録などは業務の効率化にもつながる部分であると思いました。	経過記録	業務効率化	機能追加により、電子化が有効であるという意見
フェースシートや経過記録の入力について、ソフトが他の記録と関連(システム連携)することで、より効率化につながるのではないかと思います。	経過記録	業務効率化	機能追加により、電子化が有効であるという意見
経過記録について→日々、各部署(支援員・看護師・介護職等)で記録される日誌等とケアプランソフト(=経過記録)が連動することが出来た場合は、効率化が図れると思われる。	経過記録	業務効率化	機能追加により、電子化が有効であるという意見
経過記録について…カテゴリーに、特記事項、施設行事等の項目があると良いと感じました。又、可能であれば、カテゴリーの項目が加えられる機能があると、ソフトを利用した上で各施設にあったものができると思う。計画記録を記入する場合に、日常生活活動と、支援計画の目標に対する経過とは、カテゴリーを利用して、分けて記録できた方が、評価・モニタリング・再アセスメントし易いと思う。(カテゴリーに「目標1・2・3」等の項目)	経過記録	業務効率化	機能追加により、電子化が有効であるという意見
ニーズ整理表へ移行した中では、アセスメントの特記事項の入居者の思いや、職員の気づきが同じものに分類でき、一つのニーズに出来るものが多数ある。それらがニーズ整理表の中で分類(層別)され、一つのニーズの抽出につながるともっと効率的である。分類が並べ替えできるとよい。	ニーズ整理表	業務効率化	機能追加により、電子化が有効であるという意見
保存のスピードの対応や運用スキルの統一等が図ればある程度は効率が高くなると思われる	システム全般	業務効率化	機能追加により、電子化が有効であるという意見
フェースシートや経過記録の入力について、日々施設で行なっている記録(各日誌やケース記録など)とソフトの関連がないので、ケアプランをたてる際に入力の手間が増えたり、記録の重複になる。	経過記録	業務効率化	システム機能等の不足に関する意見
現在のものでは一つのニーズを作り上げるのに、特記事項を一つ一つ確認し、行を移動し貼り付け作業などがあるので効率的でない。	ニーズ整理表	業務効率化	システム機能等の不足に関する意見
ニーズ整理表が「生活支援計画書」「支援計画書に具体化されなかったニーズ」に転記されることは、ニーズひとつに問題点が一つではなく、組み合わせでの支援等が求められると思われるので、使用しづらいと感じる。	ニーズ整理表	業務効率化	システム機能等の不足に関する意見

ソフトの起動に時間がかかったり、上書き保存ができないことがあったりとシステム機能に不満を感じました。業務効率化を本格的に行うためには少し機能が足りない或いは改善の必要があるのではないかと思います。一長一短だとは思いますが…	システム全般	業務効率化	システム機能等の不足に関する意見
ひとりひとりソフトをコピーする必要がある面倒。	システム全般	業務効率化	システム機能等の不足に関する意見
作業項目が多いため記入できたのかチェックするのに時間を要した。	アセスメント	業務効率化	システム機能等の不足に関する意見
施設全員のアセスメントシートを作るとするならば一つのソフトの中に50人分のデータが入る様にしたい。	アセスメント	業務効率化	システム機能等の不足に関する意見
経過記録の入力は非常に時間がかかった。パソコンが不安定になり、上書き保存を他の記入より頻繁に実施しないといけない状態だった。	経過記録	業務効率化	システム環境等の不具合に関する意見
施設ではXP、NTのOSを使用してみましたが、どちらも起動、保存、終了の際、かなり時間がかかります。又、フリーズしてしまうこともありました。すぐに立ち上げて、打ち込んですぐに保存できるということが改善されないと、職員が交代で多くの利用者の打ち込み作業を効率良くまわすことができません。	システム全般	業務効率化	システム環境等の不具合に関する意見
ソフトが重すぎ、PCがフリーズすることがある。	システム全般	業務効率化	システム環境等の不具合に関する意見
現在のものでは、起動や表示に時間がかかりすぎる。	システム全般	業務効率化	システム環境等の不具合に関する意見
ソフトでは縦に画面が長いので、どこまで打ち込んでいるのか分からなくなってしまいます。用紙と同じような形が良いと思います。	アセスメント	業務効率化	システム画面構成に関する意見
アセスメント項目に関連しての「利用者の希望や思い」「本人の状況とその環境」を一連して見る事ができないシートであり、使いづらい。	アセスメント	業務効率化	システム画面構成に関する意見
経過記録について…日常生活の経過記録に関して、施設利用者全員の記録をいつ、誰が記録するかという事を考えて行かなければ(時間的な事を含め)、効率化を図れるとは、言えないと思う。	経過記録	業務効率化	システム運用体制に関する意見
入力に時間がかかるのでは？入力者が固定してしまうので	システム全般	業務効率化	システム運用体制に関する意見
当施設においてパソコン操作は全職員を対象とし、ケアプランも全職員が施設のオリジナルのフォームを使用して作成しております。技術的にどのレベルの施設職員を対象としてこのソフトを製作しているかにも関わるとは思います。操作を習得するまでの期間や操作の能力などを考慮するとソフト操作に業務が集中し本来の介護という仕事が疎かになる怖れがあるのではないかと思います。	システム全般	業務効率化	システム運用体制に関する意見
アセスメントをした後、「入力する」という作業が今までの業務に追加されるということだけでも、効率化につながるとは考えにくい。	アセスメント	業務効率化	システム運用体制に関する意見
(2) 利用者サービスの向上が図れると思いますか？			
思う …6			
思わない …2			
わからない…3			
ソフトの中ではケアプランと日々の記録がワンシステムになっているが、連動するとともに効率的であると共に、ケアプランの評価に繋がり、利用者サービスの向上につながると思う。	経過記録	利用者サービス向上	電子化が有効であるという意見

経過記録をとるという点は、今までの流れる介護作業で見落とされていた点などが認識できたこと、また、各職種間での今までより深い情報交換・共有のきっかけ作りになっていた点から、利用者サービスの向上に結びつくと思う。	経過記録	利用者サービス向上	電子化が有効であるという意見
「施設のケアプラン」を使用しているコメント…「電子化」という点で利用者のサービス向上を考えた場合に、ケアプランを実施する際、効率化が図れている事、重複した記録（経過記録等）をせずに済む事で、サービス向上につながると思う。	経過記録	利用者サービス向上	電子化が有効であるという意見
日々の業務上、長時間入力に向かえることは難しく、上記3つの目的はなかなか難しいと大変強く感じました。が、経過記録をとる事で、職員の業務の偏り、意識統一の甘さ、業務消化の工夫等の問題点を発見することができました。これらをクリアすることが利用者サービスの向上につながる事を思います。	経過記録	利用者サービス向上	電子化が有効であるという意見
方法は色々あるが専門スタッフが話し合い、統一した見解を同様の手順で行える意味でも良いと思われる	システム全般	利用者サービス向上	電子化が有効であるという意見
パソコンを導入する事により、サービスの質を低下させることなく、統一したサービス提供が可能になると思います。	システム全般	利用者サービス向上	電子化が有効であるという意見
ソフトを利用する事により、情報を整理、抽出しやすくなったと思います。	システム全般	利用者サービス向上	電子化が有効であるという意見
現時点では何とも言えないが、ケアプラン自体が入居者ニーズを把握し、可能な限り実現可能なものをケアプランに反映させ実施することになり、介助方法の統一化もでき、利用者サービスの向上にはつながると思う。	支援計画	利用者サービス向上	電子化が有効であるという意見
アセスメントを行う事で、利用者の希望や思いを把握できる事や、その現状を踏まえ各職種の情報を気づきとして書くことによって、解決すべき課題が、明確になり、計画・実施する事で、サービスの向上が図れると思う。	アセスメント	利用者サービス向上	電子化が有効であるという意見
すべての職員がすぐ簡単に見られる様なソフトにして欲しい。現在のものは扱いづらい。	システム全般	利用者サービス向上	システム機能等の不足に関する意見
ページ数が多いので、印刷して確認するではなく、PCを共有でつなぎ内容の確認をした。	システム全般	利用者サービス向上	システム環境等の不具合に関する意見
ある程度のマニュアル化されたプランがあればケアプランは作りやすく、利用者にとって公平、公正であり、またバラツキのないサービスを提供できると思います。画一的で幅の無いサービスにつながるおそれもあるのではないかと思います。やはりこれが一長一短だと思いました。	支援計画	利用者サービス向上	電子化が有効であるかわからないという意見
ソフトと利用者サービスとはつながらないと思う	システム全般	利用者サービス向上	電子化が有効ではないという意見
業務内容が増え、思われない。	システム全般	利用者サービス向上	電子化が有効ではないという意見
(3) 職員の資質向上にとってどうであったか？（業務の統一化など）			
思う …4			
思わない …1			
わからない…5			

情報の欠損が少なくなった。	経過記録	職員の資質向上	電子化が有効であるという意見
介護部門だけでなく、各部署の連携・統一化が図れるようになった。	経過記録	職員の資質向上	電子化が有効であるという意見
現時点では何とも言えないが、通常なら記録していない事項もケアプランに沿った記録をしている職員もいたので、職員の質向上にはつながっていくと思われる。	経過記録	職員の資質向上	電子化が有効であるという意見
経過記録をとるという点で、支援目標の再認識・支援方法の確認が図れ有効なものだと感じた。現在は日誌類が各職種間にあり、クラブ・リハビリ・通院等も別に設けてある。その利点と不都合を感じる事ができた。	経過記録	職員の資質向上	電子化が有効であるという意見
各職員がパソコンを使用する機会が増える事にはつながりました。統一化まではいかないが、仕事の明確化にはなったと思います。	システム全般	職員の資質向上	電子化が有効であるという意見
当施設はPCの入力は全員が他のシステムを使用している為問題は無かったが、平成14年の4月に開設したばかりの為、職員一人一人のスキルが違い、支援計画書等の作成にレベルの差が出たが、作成を繰り返すことで上がっていくのではないかと思われる。	支援計画	職員の資質向上	電子化が有効であるという意見
業務統一に効果はあると思いますが、どの様に各職員にインフォメーションするかが、問題です。	システム全般	職員の資質向上	システム運用体制に関する意見
パソコンを使用するという事で、得意な職員のみが打ち込み込まれる可能性はある。	システム全般	職員の資質向上	システム運用体制に関する意見
ケアプランに関わる職員が技術的にまずはソフトを使いこなすことが課題だと思います。	システム全般	職員の資質向上	システム運用体制に関する意見
7領域21項目にわたるアセスメント(チェック・確認)をしていくが、この事により、職員の質や、力量に関わらず、一定のまた統一した支援が実施可能であるが、職員の資質向上という点では、変わらないと思う。	アセスメント	職員の資質向上	電子化が有効ではないという意見
前述したようにこのソフトを使用することにより統一されたケアプランが作成でき、作成する職員によってケアプランに格差が生じるということはないかと思いますがそのことが即資質の向上につながることは考えにくい様に思います。職員の資質の向上のためには感性を磨くなど電子化とは違った部分が必要なのではないかと思いました。	支援計画	職員の資質向上	電子化が有効ではないという意見
(4) 一人分を入力するのにどれくらいかかりましたか?			
集計結果 別紙5 入力時間集計表 参照			
追加であった「背景要因」と「評価」の部分では作成そのものに戸惑いました。これは全社協が「施設ケアプラン」では指導されていない部分だと思います。今後は「施設ケアプラン」でも追加を考えているのでしょうか。それに対する指導もあるのでしょうか。また、評価については短い期間のなかで出されたもので十分なものとはいえません。 二名分の入力で本来の目的を理解するには至らなかったかもしれませんが当施設の業務内容からすると全体的に多くの改善が必要ではないかと思いました。	支援計画	入力時間	帳票内容に関する意見
アセスメントチェックするのに時間を要した。	アセスメント	入力時間	帳票内容に関する意見
検討会を行いながら入力した時間です	その他	入力時間	その他(入力時間の計測方法に関する意見)
エクセルについての知識や熟練度によって、入力時間は大幅に変わります。今回は、あえて初心者に入力して頂きました。	システム全般	入力時間	その他(入力時間の計測方法に関する意見)

既存のケアプランを入力するのに要した時間であり、実際に作成する際にはさらに多くの時間を要すると思います。	システム全般	入力時間	その他（入力時間の計測方法に関する意見）
上記の時間は打ち込むだけの時間である為、考えながらであった場合は、もう少し時間がかかる。	システム全般	入力時間	その他（入力時間の計測方法に関する意見）
経過記録のカテゴリーが一つしか選択できない。	経過記録	入力時間	システム機能等の不足に関する意見
アセスメント特記事項がいくつかあり、ニーズ整理表に移行すると一つにまとまって出されるので、ニーズ整理表の中で分割しなければならない。	ニーズ整理表	入力時間	システム機能等の不足に関する意見
特記事項への入力にもう少し工夫がほしいと思いました。また、ラジオボタンでは選択肢の中から一つしか選択できないため不便でした。実際には二択三択する部分があるのでではないかと思えます。またある程度の量を入力すると上書き保存が出来ずに何度か時間のロスがあり業務効率化のためには改善していただきたい部分だと思いました。	アセスメント	入力時間	システム機能等の不足に関する意見
保存の失敗等の時間を入れればさらに60分以上はかかっている。エクセルのファイルという形ではなく、しっかりしたソフトにして欲しい。	システム全般	入力時間	システム環境等の不具合に関する意見
保存時、何度もフリーズし（応答なし）、再度、初めから入力しなければならなかった。	システム全般	入力時間	システム環境等の不具合に関する意見
アセスメントが一覧すると見にくい。（チェックが見にくい）	アセスメント	入力時間	システムの画面構成に関する意見
チェック項目と入居者の思い、職員の気づきは横並びが見やすい。	アセスメント	入力時間	システムの画面構成に関する意見
入力の際、本の様式「施設のケアプラン」の用紙の向きが横だったのに対し、このケアプランは縦に作られており、慣れていないせいもあるが、シートを使いにくいように感じました。	アセスメント	入力時間	システムの画面構成に関する意見
様式について…「施設のケアプラン」と同様に、アセスメント項目の横に、利用者の希望や気づき等が書き込めるようになると、効率化が図れると思う。ウインドウの分割を行うよりも、（その手間もある）横に表示されていた方が見やすい。	アセスメント	入力時間	システムの画面構成に関する意見
ソフトを理解できれば、早くなる可能性はある。ソフトについて、職員全員が慣れ、打てるようになるには、時間がかかる。	システム全般	入力時間	システム運用体制に関する意見
(5) その他			
※当施設では、以前よりケアプランを作成、実施しておりましたが、平成14年度より「施設のケアプラン」をインターネットでダウンロードし、ケアプランを作成。又、経過記録（ケース記録）については、当施設独自の様式を用いて実施しています。（全てワードを使用）この現状と比較して、実施報告書を書いております。（現在ケアプランを使用して良いとの事でしたので使用し、実施した事を経過記録に打ち込んでおります。）	システム全般	その他	その他
評価について…実際にソフトを利用して、実施した後評価をする場合、現在の評価の欄では、評価し難い。試行調査により記入された支援計画では、期間を全て6ヶ月に設定しているが、その期間ごとに評価をした場合（6ヶ月などで）、継続となった時には、その後の評価はどこに記入するのでしょうか？再アセスメントを行い、支援計画書を作るのですか？期間設定が全て同じではないと思えますが？その都度に支援計画書を作った場合、効率化という点では難しくなると思います。	支援計画	その他	帳票内容に関する意見

別紙5 シート別入力時間集計

① フェースシート

	時間 (分)	年齢 (歳台)	性別
	10	20	女性
	5	20	男性
	10	30	女性
	5	30	女性
	10	30	女性
	5	30	女性
	20	30	男性
	5	30	男性
	7	40	男性
平均	8.6	28.9	
最小	5		
最大	20		

② アセスメント

	時間 (分)	年齢 (歳台)	性別
	60	20	女性
	60	20	男性
	50	30	女性
	60	30	女性
	80	30	男性
	30	30	男性
	32	40	男性
平均	41.3	22.2	
最小	30		
最大	80		

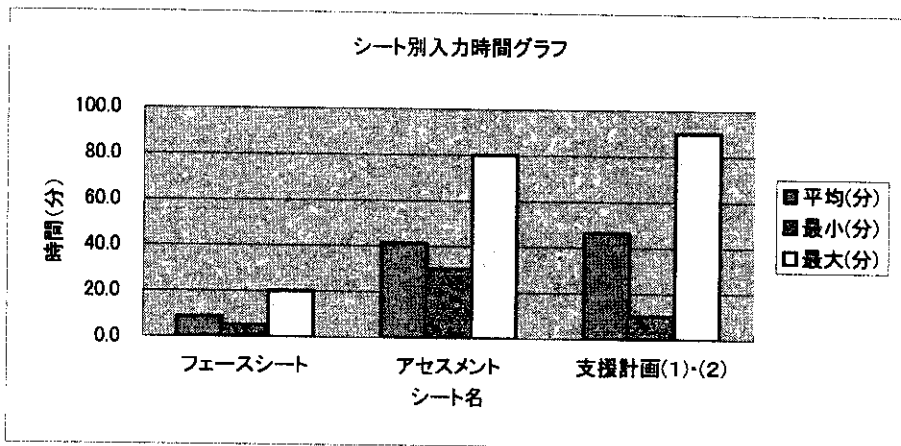
③ 支援計画(1)・(2)

	時間 (分)	年齢 (歳台)	性別
	60	20	女性
	60	20	男性
	50	30	女性
	90	30	女性
	90	30	女性
	10	30	男性
	30	30	男性
	28	40	男性
平均	46.4	25.6	
最小	10		
最大	90		

④ トータル

	時間 (分)	年齢 (歳台)	性別
	130	20	女性
	125	20	男性
	105	30	女性
	160	30	女性
	110	30	男性
	90	30	男性
	67	40	男性
平均	87.4	22.2	
最小	67		
最大	160		

シート名	平均(分)	最小(分)	最大(分)
フェースシート	8.6	5	20
アセスメント	41.3	30	80
支援計画(1)・(2)	46.4	10	90
トータル	87.4	67	160



【別添2】

厚生労働科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）
分担研究報告書

「試行調査用シート」

フェイスシート
領域Ⅰ 生活環境
領域Ⅱ 健康
領域Ⅲ 日常生活活動
領域Ⅳ コミュニケーション
領域Ⅴ 社会生活技能
領域Ⅵ 社会参加、余暇活動
領域Ⅶ 家族とのつながり
生活支援計画書（１）
生活支援計画書（２）
【支援計画に具体化されなかったニーズ】
経過記録一覧
ニーズ整理表

- ・ 本システムは、「療護施設の個別支援書」の確保による「良質なサービス提供」と「合理的・効率的なサービス提供」に向けた電子情報化のあり方に関する実
- ・ 本研究事業参加施設に限り使用が許諾されております。

ん。
All Right Reserved, Copyright © 株式会社 富士ロジテックデータシステム

フェイスシート

氏名	生年月日	昭和	平成	年	月	日	(歳)
	利用開始	昭和	平成	年	月	日	(利用機関)
〇男 〇女 出身市町村							
障害の状況	身体障害者手帳	障害名	障害の等級		重複障害		
	障害の起因	障害の原因	疾患・受傷病名		障害の内容		
	年(頃)	〇疾患〇事故〇					
	年(頃)	〇疾患〇事故〇					
おもな生活歴	年(頃)	〇疾患〇事故〇					
	年	月	年	月			
	年	月	年	月			
	年	月	年	月			
	年	月	年	月			
使用している福祉用具							

領域 I 生活環境

1.住環境	①行動範囲	<input type="checkbox"/> 広がり <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> 自由さ <input type="checkbox"/> 温度・湿度調整
	②居室	<input type="checkbox"/> 広さ <input type="checkbox"/> 居室替え <input type="checkbox"/> 収納設備 <input type="checkbox"/> 私物の量 <input type="checkbox"/> 音 <input type="checkbox"/> 匂い <input type="checkbox"/> 照明 <input type="checkbox"/> 換気 <input type="checkbox"/> 防虫 <input type="checkbox"/> 同室者・人数 <input type="checkbox"/> 間仕切り <input type="checkbox"/> カーテン <input type="checkbox"/> インテリア <input type="checkbox"/> 利便性(居室の場所)
	③食堂	<input type="checkbox"/> 食事の場所 <input type="checkbox"/> インテリア <input type="checkbox"/> 食事時の雰囲気 <input type="checkbox"/> 食事時間 <input type="checkbox"/> 適温配膳 <input type="checkbox"/> 食器類
	④トイレ	<input type="checkbox"/> 清潔さ <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> 近接性 <input type="checkbox"/> 排泄器具 <input type="checkbox"/> 利便性(待たずにできる等)
	⑤睡眠環境	<input type="checkbox"/> ベッドメイキング <input type="checkbox"/> 音や声 <input type="checkbox"/> 照明

領域Ⅰ 生活環境

【特記事項】

- 新規
- 継続

【利用者の希望や思い】

～したい、
～に困っている

【本人の状況とその環境】

気になること、
気づいたこと

領域Ⅰ 生活環境

2. プライバシー	
①設 備	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">建物や設備</div> <div style="width: 65%;"> <input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 浴室 </div> </div>
②介 助	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">介護の様子</div> <div style="width: 65%;"> <input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 浴室 </div> </div>
③性	<input type="checkbox"/> 自分の性への安堵感 <input type="checkbox"/> 恥じらいや感情の自然さ <input type="checkbox"/> 異性との交流
④見学者外来者	<input type="checkbox"/> 自由な交流や忌避・了解
⑤呼 称	<input type="checkbox"/> 呼称への満足度 <hr/> <input type="checkbox"/> 自尊心との関係 <hr/>
⑥取り次ぎ	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 手紙 <input type="checkbox"/> 意見や希望の伝達 <input type="checkbox"/> その早さ・適確さ

領域 I 生活環境

<p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 新規○ 継続	<p>【利用者の希望や思い】</p> <p>～したい、 ～に困っている</p>	
	<p>【本人の状況とその環境】</p> <p>気になること、 気づいてこと</p>	

領域Ⅱ 健康

1. 疾病の状態	①傷病名	
	②留意の必要な感染症	<input type="checkbox"/> HB(B型肝炎ウイルス) <input type="checkbox"/> HCV(C型肝炎ウイルス) <input type="checkbox"/> HIV(ヒト免疫不全ウイルス) <input type="checkbox"/> MRSA(メチシリン耐性ブドウ球菌) <input type="checkbox"/> 梅毒 <input type="checkbox"/> 緑膿菌 <input type="checkbox"/> その他
	③留意の必要な合併症	<input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 低血圧 <input type="checkbox"/> 糖尿 <input type="checkbox"/> 尿路感染 <input type="checkbox"/> 肺炎 <input type="checkbox"/> その他
	④日常生活への影響	<input type="checkbox"/> 発熱 <input type="checkbox"/> 食欲不振 <input type="checkbox"/> 不眠 <input type="checkbox"/> 倦怠 <input type="checkbox"/> 呼吸困難 <input type="checkbox"/> 心不全 <input type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> けいれん <input type="checkbox"/> 排泄困難 <input type="checkbox"/> 幻聴 <input type="checkbox"/> 幻覚 <input type="checkbox"/> 抑うつ <input type="checkbox"/> 見当識障害
	⑤与薬	<input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 必要無

領域Ⅱ 健康

【特記事項】

- 新規
- 継続

【利用者の希望や思い】

～したい、
～に困っている

【本人の状況とその環境】

気になること、
気づいてこと

領域Ⅱ 健康

2. 麻痺・拘縮 不随意運動の状態	①麻痺	<input type="radio"/> 無
		<input type="radio"/> 有
		<input type="checkbox"/> 左上肢
		<input type="checkbox"/> 右上肢
		<input type="checkbox"/> 左下肢
	<input type="checkbox"/> 右下肢	
	②拘縮	<input type="radio"/> 無
		<input type="radio"/> 有
		<input type="checkbox"/> 左上肢
		<input type="checkbox"/> 右上肢
		<input type="checkbox"/> 左下肢
	<input type="checkbox"/> 右下肢	
	③不随意運動	<input type="radio"/> 無
		<input type="radio"/> 有
		<input type="checkbox"/> 左上肢
<input type="checkbox"/> 右上肢		
<input type="checkbox"/> 左下肢		
<input type="checkbox"/> 右下肢		
<input type="checkbox"/> その他		
④変形や欠損	<input type="radio"/> 無	
	<input type="radio"/> 有	
⑤麻痺・拘縮箇所への医学的処置	<input type="radio"/> 無	
	<input type="radio"/> 有	